

令和元年度 事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

I 管理部門

1 会員の異動状況

区 分	平成29 年度末	平成30 年度末	令和元年度中 増 減	令和元年度末
正 会 員	99	98	0 3	95
賛助会員	1	1	0 1	0
特別会員	0	0	0 0	0
合 計	100	99	0 4	95

2 開催した法人運営会議

(1) 総会

第40回通常総会 [令和元年6月5日]

審議事項

- ・2018(平成30)年度 収支決算
- ・定款の改正 (顧問の設置と相談役の増員)
- ・役員の変更

報告事項

- ・2018(平成30)年度 事業報告
- ・2019(令和元)年度 事業計画
- ・2019(令和元)年度 収支予算

(2) 理事会

第1回理事会 [令和元年5月15日]

審議事項

- ・総会審議事項 2018(平成30)年度 収支決算
定款の改正 (顧問の設置と相談役の増員)
役員の変更
- ・総会報告事項 2018(平成30)年度 事業報告
2019(令和元)年度 事業計画
2019(令和元)年度 収支予算
- ・第40回通常総会の開催要項
- ・相談役の選任
- ・浄化槽検査委員会委員の委嘱

報告事項

- ・第40回通常総会の表彰対象者

第2回理事会 [令和元年6月5日]

審議事項

- ・理事長、副理事長、常務理事の互選
- ・顧問の選任

第3回理事会 [令和元年11月6日]

報告事項

- ・令和元年度 上半期実施状況
- ・令和元年度 中間決算

第4回理事会 [令和2年3月17日]

審議事項

- ・令和2年度 事業計画案
- ・令和2年度 収支予算案
- ・重要な財産の処分（外壁その他改修工事積立資産の取崩）
- ・規程の改正

報告事項

- ・令和元年度 事業実施見込
- ・令和元年度 収支決算見込
- ・職員の懲戒処分

(3) 正副理事長会議

第1回正副理事長会議 [令和元年5月15日]

- ・理事会審議事項
- ・理事会報告事項

第2回正副理事長会議 [令和元年11月6日]

- ・理事会報告事項
- ・第3回理事会日程

第3回正副理事長会議 [令和2年3月17日]

- ・理事会審議事項
- ・理事会報告事項
- ・令和2年度第1回理事会・第41回通常総会日程

(4) 監事監査 [令和元年5月10日]

- ・平成30年度事業報告の監査
- ・平成30年度会計計算関係書類の監査

II 事業部門

1 浄化槽法定検査月別実施状況 (単位：基)

年 月	検査総数	7条検査	11条検査	11条検査の内 10人槽以下	11条検査の内 11人槽以上
平成31年4月	3,033	127	2,906	2,041	865
令和元年5月	3,224	156	3,068	2,085	983
令和元年6月	3,078	191	2,887	1,701	1,186
令和元年7月	3,436	312	3,124	1,862	1,262
令和元年8月	2,857	209	2,648	1,845	803
令和元年9月	3,474	152	3,322	2,067	1,255
令和元年10月	3,727	104	3,623	2,229	1,394
令和元年11月	3,950	232	3,718	2,262	1,456
令和元年12月	3,799	215	3,584	2,471	1,113
令和2年1月	3,943	187	3,756	2,542	1,214
令和2年2月	4,008	129	3,879	2,585	1,294
令和2年3月	4,704	289	4,415	3,230	1,185
令和元年度 実績	43,233	2,303	40,930	26,920	14,010
令和元年度 計画	42,000	2,000	40,000	26,000	14,000
実績 - 計画	1,233	303	930	920	10
平成30年度C地区 協会実施基数	—	—	26,032	26,032	—
平成30年度 センター実施基数	30,660	3,220	27,440	13,391	14,049

※令和元年度ガイドライン検査はC地区（三原市・尾道市・府中市）

2 浄化槽法定検査結果（平成31年4月～令和2年3月）

判定結果	7条検査		11条検査	
	基数	割合	基数	割合
A 適正	1,622	70%	25,543	62%
B 概ね適正	479	21%	10,540	26%
C 不適正	202	9%	4,847	12%
計	2,303	100%	40,930	100%

3 検査実施計画達成のための方策

(1) 受検率向上の取り組み

浄化槽法定検査の受検率を向上させるため、未受検浄化槽の管理者（所有者）名、住所等の情報を最新で正確なものとするよう市町と連携して努めるとともに、この情報に基づき、受検依頼数を確保することを目的に次の取り組みを実施した。

ア 市町と連携した取り組み

- ・未受検者への文書送付（市町名による指導文書）
- ・市町への浄化槽台帳整備、未受検者指導、共同訪問等の各種要請

令和元年度の実績

浄化槽台帳整備	府中市、安芸太田町
未受検者指導実施	16市町
共同訪問の実施	海田町

イ 当センター独自の取り組み

- ・指導文書の無回答分について宛名・住所等を再精査し、検査員が電話や訪問を実施した。
- ・会員への掘り起し委託を実施した。

掘り起し状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日 単位：基）

掘り起し経路	11人槽以上	10人槽以下	計
検査員	386	7	393
会員	1	0	1
文書案内	41	35	76
市町指導	95	362	457
合計	523	404	927

(2) 受検契約締結の推進

法定検査を毎年確実かつ効率的に実施するため、10人槽以下の浄化槽管理者との三者契約、11人槽以上の二者契約の締結を推進した。

受検契約締結状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日 単位：基）

10人槽以下（三者契約）	2,986
11人槽以上（二者契約）	480
合計	3,376

4 精度管理の実施

(1) BOD水質検査システム

土日対応の自動BOD測定システムにより、法定検査を行う全ての浄化槽についてBOD水質検査を実施し、安定して正確な測定結果を得るため、的確なシステム維持管理の徹底、検査環境整備など検査業務の精度管理を行った。

(2) 検査に使用する計量器

経済産業省の指導に基づき、当センターで使用するpH計は全て特定計量器として定期的に検定を受けており、今年度は13器について受検した。また各検査員は毎週金曜日にpH計及び溶存酸素計(DO計)の校正を実施し検査精度の確保に努めた。

(3) 検査技術の向上

検査員の検査技術の向上及び現場検査の精度管理の徹底を図るため、検査員研修会、検査員研究会、接遇研修、現場検査指導等のOJTを含めた体系的な内部研修の充実に努め、全国浄化槽技術研究集会など外部の講演会、研究発表会等にも検査員を参加させ、他県の検査機関との交流と情報交換を行った。

5 検査業務の効率化

(1) 5S活動

今年度は検査結果所見の統一化を議題として取り組み、外観検査の所見選択の簡素化の検討、B判定・C判定の所見の統一、追記所見の簡素化と定型文による選択入力化等により、検査業務の簡素化、効率化を図った。

(2) 浄化槽法定検査技術マニュアルの見直し

外観検査で槽内が正常水位にない場合等のチェック方法の統一、各構造基準における流入タテリ管の有無の一覧表示、生物化学的酸素要求量(BOD)の1日目測定日の変更等、検査の効率化と迅速化を図る見直しを実態に即して行った。

6 各種会議開催・参加

- ・浄化槽検査委員会（7月9日）
- ・製造・施工部会及び保守点検・清掃部会（4月25日、9月25日）
- ・運営懇談会（11月15日）
- ・広島県浄化槽適正維持管理促進協議会（7月22日）
- ・中国地区指定検査機関情報交換会（11月7日）
- ・全国浄化槽技術研究集会（10月9・10日）
- ・(一社)全国浄化槽団体連合会の諸会議
- ・(一社)全国浄化槽団体連合会中国支部協議会の諸会議 等

7 法定検査関連普及啓発等事業

(1) 環境啓発イベント出展

6月9日(日)に県庁前広場で開催された令和元年度「環境の日」ひろしま大会の環境活動展示部門に出展し、合併浄化槽の模型やパネル等の展示、来場者への説明、顕微鏡による微生物の観察等、生活排水の未処理放流の解消や適正な維持管理の大切さ、きれいな水の大切さなどを啓発した。

(2) 「浄化槽の日」新聞広告掲載

10月1日(浄化槽の日)付けの中国新聞に、浄化槽の適正な維持管理の実施、特に法定検査の実施について啓発する広告を、広島県、広島県浄化槽推進市町村協議会、(公社)広島県浄化槽協会と共催で掲載した。

(3) 懸垂幕の常時掲揚

当センターの存在感を強くアピールするとともに、浄化槽法定検査受検の促進及び水環境の保全の普及啓発を図るため、標語を掲げた懸垂幕の常時掲揚を継続した。

(4) 研修会による啓発

広島県環境県民局循環型社会課主催の「広島県浄化槽適正維持管理促進協議会」が7月22日に開催された。この際、浄化槽の検査手順などに加えて当センターから法定検査の実施状況等について出席者に詳しく説明を行い、受検率向上について協力を要請した。

(5) 会報発行、ホームページ運営等による普及啓発及び情報提供

会員及び浄化槽設置者の支援のため、浄化槽の適正な設置・管理方法、浄化槽法定検査の制度、浄化槽関連の手続きやその他の浄化槽関連の情報等を提供した。

その一つとして今年度は、(一社)全国浄化槽団体連合会が執行団体となっている環境省の省エネ型浄化槽システム導入推進事業の広島県における窓口として、助成金の案内や事務手続きの支援を行い、13件 29,954,000円の助成実績があった。

(6) 水環境保全活動助成

水環境保全への寄与度の高い普及啓発、講習、実践活動等を行っているものに助成する事業を今年度も継続実施し、三次市の馬洗川で河川敷環境美化活動等を行っている「川魚の里愛護会」へ300,000円の助成を行った。

(7) 浄化槽維持管理講習会(延期)

新たに浄化槽を設置し使用する者を対象として、適正な使用と維持管理について福山市・東広島市と共催で3月に講習会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となった。

8 浄化槽現況調査受託事業

府中市及び安芸太田町から浄化槽現況調査を業務受託し、次の通り実施した。

(1) 府中市 浄化槽現況調査受託事業

- ・調査期間 平成31年4月1日～令和元年12月28日
- ・調査対象 1,000基
- ・調査内容 ①浄化槽の有無 ②種類(合併・単独) ③人槽
④管理者名及び管理者住所 ⑤設置場所の住所
⑥使用者名 ⑦建物用途 ⑧浄化槽メーカー
⑨処理方式 ⑩型式 ⑪使用状況

(2) 安芸太田町 浄化槽現況調査受託事業

- ・調査期間 令和元年8月1日～令和2年3月31日
- ・調査対象 1,040基
- ・調査内容 ①浄化槽の有無 ②種類(合併・単独) ③人槽
④管理者名及び管理者住所 ⑤設置場所の住所
⑥使用者名 ⑦建物用途 ⑧設置場所の写真
⑨浄化槽メーカー ⑩処理方式 ⑪型式 ⑫汚泥(有効容量)
⑬保守点検業者名 ⑭清掃業者名 ⑮法定検査受検契約締結状況